

(件名)

静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議について

(健康福祉部医療健康局)

1 要 旨

令和2年5月11日、「新型コロナウイルス感染症医療専門家会議」を母体に、小児科・産科・透析の各領域の専門家の参画により会議体を拡充した「静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」を開催し、本県の新型コロナウイルス感染状況把握のための指標について御意見をうかがった。

2 議事内容

(1) 本県の新型コロナウイルス感染状況把握のための指標について

今後、本県の感染状況の確認と感染期のステージ変更の判断基準となる指標案について説明し、委員の意見交換により、下記項目に集約した。

【感染拡大状況の指標】

- ① 過去7日間の新規PCR陽性者数
- ② 過去7日間の感染経路不明の新規PCR陽性者数
- ③ 過去7日間の新規PCR陽性者数中の感染経路不明者の割合 (=②/①)
- ④ 過去7日間のPCR検査陽性率
- ⑤ 過去7日間の5人以上のクラスター（家族内感染を除く）の発生件数
(医療機関、福祉施設、学校での感染拡大の評価を念頭)

【病床ひっ迫状況の指標】

- ⑥ 過去7日間の感染症病床利用率の推移
- ⑦ 過去7日間の重症者数の推移

【その他の主な意見】

- ④については、分母に民間検査機関の検査数を含められるか。
⇒保健所への正確な報告数の把握に努めていく。
- PCR検査は、結果が出るまでの期間の違いがあり、統一した基準が必要。
⇒原則、検査に出した日ごとの「検査数」「陽性者数」とする。
- 今後のPCR検査の目安やあり方、対応病床の拡充などにより、各指標の分母が変

化する可能性がある。

⇒分母変化の区切りを明確に示し、時期を区切りながら比較することで活用する。

- それぞれの指標を何のために用いるかの議論が必要。医学的に感染状況を分析し、社会的要因を含めて県が施策判断に活用するもの、県民に対して「見える化」して周知するものを分けて考えるべき。
- 「入院患者数の倍になる日数」については、県民に病床がひっ迫する状況を分かり易く伝え、行動変容を促す指標として提案した。

【今後の対応】

各指標項目について精査し、本県の感染状況の確認と感染期のステージ変更の判断基準となる数値（指標値）を提案し、委員の意見を伺う。

- (2) 静岡県新型コロナウイルス感染症対策組織について
事務局より説明。